

## 2. 女性学・ジェンダー副専攻

女性学は性差の生み出す文化的・社会的問題を取り上げ、多様な領域から考察する学問である。さまざまな地域や時代の女性・男性の個々のありよう、人間関係、社会制度・法律、文学や芸術作品などを通して、ジェンダーの問題を解明しつつ、現在の自分の位置を把握し、生き方を考える契機を提供することが女性学のねらいである。東京女子大学のリベラルアーツ・エデュケーションの伝統を創造的に継承し、現代社会の課題に応える上で、女性学の果たす役割は大きい。言い換えれば、東京女子大学らしい教育の一つの側面が女性学だといえよう。

本学には女性学研究所が設置されており、上記のねらいに基づいて、講演会、研究会等のかたちで研究活動を展開している。そのような活動との有機的関連をはかりつつ、学生がそれぞれの関心に応じて、全学共通カリキュラム、学科科目から女性学的視点を取り入れた科目を履修することで、リベラルアーツ・エデュケーションの成果をより豊かにすることを期待している。

### 女性学・ジェンダー副専攻の到達目標

女性学・ジェンダー研究の視点から社会および文化の諸相を理解するとともに現代社会の諸問題を多面的に分析する力を養い、よりよい社会・文化の創造に自らの力を活かしていくための素養を身につける。

#### ■女性学・ジェンダー研究の基礎

- ・女性学・ジェンダー研究の基本概念を体系的に習得する。
- ・女性学・ジェンダー研究の基本概念を踏まえて日本や世界の社会、文化、歴史をとらえ直し、諸問題を多角的に考察する視点を養う。

#### ■女性・ジェンダーと社会

- ・身近な日常からグローバルな状況まで、さまざまな社会領域における女性およびジェンダー関係の現状と課題を多面的に分析する力を養う。
- ・女性学・ジェンダー研究の知見を踏まえ、よりよい共生社会の構築に主体的に関わっていくための素養を身につける。

#### ■女性・ジェンダーと人間文化・歴史

- ・日本と世界の文化や歴史における女性およびジェンダー関係の共通性と多様性、持続と変化を多面的に分析する力を養う。
- ・女性学・ジェンダー研究の視点を踏まえて日本と世界の文化や歴史を広くとらえ直し、新たな文化の創造に主体的に関わっていくための素養を身につける。

#### ■女性のウェルネス

- ・女性の心身をめぐる諸問題について、ライフサイクルの変化にも注目しつつ理解し、ライフキャリアを通して心身の健康を維持していくための素養を身につける。

#### ■女性のライフキャリア

- ・女性学・ジェンダー研究の知見を踏まえて自身の置かれた状況を把握し、現代社会の課題解決や、よりよい社会・文化の創造に、自らの力を活かしていくための素養を身につける。

●女性学・ジェンダー副専攻 教育課程〔2025年度以降入学者に適用〕

| 授業科目名                       | 単位数 | 履修年次    | 副専攻としての必修・<br>選択必修・選択の別 |     | 科目配置学科等         | 備 考  |
|-----------------------------|-----|---------|-------------------------|-----|-----------------|------|
| ■女性学・ジェンダー研究の基礎             |     |         |                         |     |                 |      |
| 女性学・ジェンダーを学ぶ                | 2   | 1・2・3・4 | 必修                      |     | 女性の生きる力科目       |      |
| ■女性・ジェンダーと社会                |     |         |                         |     |                 |      |
| 対人コミュニケーション(ジェンダー・セクシュアリティ) | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 社会コミュニケーション学科   |      |
| 人的資源管理論                     | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 経済経営学科          |      |
| 女性と社会                       | 2   | 1・2・3・4 | 選択必修                    |     | 女性の生きる力科目       |      |
| 行政と法                        | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 経済経営学科          |      |
| 家族社会学                       | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 社会コミュニケーション学科   |      |
| ケアの社会学                      | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 社会コミュニケーション学科   |      |
| ジェンダーとセクシュアリティの社会学          | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    | 2単位 | 社会コミュニケーション学科   |      |
| コミュニティとジェンダー                | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    | 必修  | 経済経営学科          | 隔年開講 |
| ジェンダーの経済学                   | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 経済経営学科          | 隔年開講 |
| ツーリズムとジェンダー                 | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 経済経営学科          |      |
| 地理学とジェンダー                   | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 経済経営学科          |      |
| 開発経済学Ⅰ                      | 2   | 2・3     | 選択必修                    |     | 国際社会学科・経済経営学科共有 |      |
| 開発経済学Ⅱ                      | 2   | 2・3     | 選択必修                    |     | 国際社会学科          |      |
| ジェンダー国際関係論                  | 2   | 2・3     | 選択必修                    |     | 国際社会学科          |      |
| 国際協力とジェンダーⅠ                 | 2   | 3・4     | 選択必修                    |     | 国際社会学科          |      |
| 国際協力とジェンダーⅡ                 | 2   | 3・4     | 選択必修                    |     | 国際社会学科          |      |
| ■女性・ジェンダーと人間文化・歴史           |     |         |                         |     |                 |      |
| 日本近現代文学A                    | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 人文学科(日)         | 隔年開講 |
| 日本近現代文学B                    | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 人文学科(日)         | 隔年開講 |
| ジェンダーとメディア                  | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    | 2単位 | 社会コミュニケーション学科   |      |
| ジェンダーの哲学                    | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    | 必修  | 人文学科(哲)         |      |
| 日本近現代史                      | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 人文学科(歴)         |      |
| 日本近現代史料論                    | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 人文学科(歴)         |      |
| 英語文学文化B                     | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 人文学科(英)         | 隔年開講 |
| ■女性のウェルネス                   |     |         |                         |     |                 |      |
| からだの科学                      | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 女性の生きる力科目       |      |
| 性と生命(セクソロジー)                | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    | 2単位 | 女性の生きる力科目       |      |
| 女性の健康科学                     | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    | 必修  | 女性の生きる力科目       |      |
| 女性のウェルビーイング                 | 2   | 1・2・3・4 | 選択必修                    |     | 女性の生きる力科目       |      |
| 女性の心身コンディショニング              | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    |     | 女性の生きる力科目       |      |
| ■女性のライフキャリア                 |     |         |                         |     |                 |      |
| 女性のキャリア形成                   | 2   | 1・2・3・4 | 選択必修                    |     | 女性の生きる力科目       |      |
| コミュニケーションとキャリア              | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    | 2単位 | 社会コミュニケーション学科   |      |
| 起業論                         | 2   | 2・3・4   | 選択必修                    | 必修  | 経済経営学科          |      |
| 副専攻の課程修了に必要な最低単位数           |     |         |                         |     | 18単位            |      |

【2025年度以降入学者に適用】

注1 女性学・ジェンダー副専攻の課程を履修する者は、2年次又は3年次の履修登録時に所定の副専攻登録を行うものとする。

2 本副専攻の課程を修了するには、本副専攻の授業科目のうち18単位を修得しなければならない。